

学校名 川越市立野田中学校
所在地 川越市野田町2-19-14
電話 049-246-8484

1. 本校の概要

本校は、伝統ある「小江戸」川越市の西、緑豊かな田園地帯と市街地との境目に位置している。晴れた日には遠く富士山を望み、生徒たちは落ち着いた環境の中、学校生活を送っている。「自ら学ぶ生徒になろう 心豊かな生徒になろう たくましい生徒になろう」という学校教育目標のもと、学校・保護者・地域が一体となって教育活動をすすめている。

2. 本校の実践の概要

(1) 朝読書の取組

本校では朝 8:25 ~ 8:35 の10分間、朝読書に取り組んでいる。担任も生徒と共に読書し、その後「朝の会」を行う。多くの生徒は図書館で本を借りたり、自分で購入した本を読む。全クラスに学級文庫を用意し、図書委員が積極的に本を紹介する。この取組が始まってから、読書の習慣がついたという生徒も多く、生徒間で本の感想を述べあっている様子もみられる。

(2) 「読書週間」の取組

今年度は、春の「子どもの読書週間」と秋の「読書週間」を、読書推進活動の中心に据えてきた。



「子どもの読書週間」
【玄関ホールへの掲示】

【全校朝会での、図書委員による図書の紹介】



【図書委員による図書クイズの実施】

図書委員が、本に関するクイズを作成し、読書週間の期間に合わせて実施する。正解した生徒には図書委員が作ったしおりをプレゼントした。



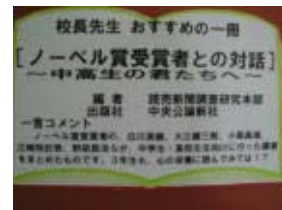
「読書週間」

【「ベストリーダー」の表彰】

4月から10月までの図書貸出数で、各学年上位3名の生徒を表彰した。昨年度、学校図書がデータベース化され、コンピュータによる貸出を行っているため、簡単にデータを集計できた。



【職員による「野田中生にすすめるこの一冊】



校長、教頭をはじめ、事務、相談室の職員まで、「野田中生にすすめるこの一冊」というタイトルで本の紹介をし、ホールに掲示した。

3. 成果と今後の課題

朝読書の取組によって、読書する習慣がついたという生徒が多くいた。学校図書の貸出数も、10月の時点で昨年度に比べて100冊以上伸びている。また、多くの職員の協力を得て、本の紹介を行ったことで、「先生が紹介していた本を借りたい」と言って図書館に来る生徒がいた。生徒の、読書に対する新たな興味を広げることができたことと、職員の読書に対する思いを生徒に伝えられたことが成果である。

今年度は、「読書週間」を中心にした取組が多かったが、さらに年間を通じた継続的な指導をしていく必要がある。また、生徒どうしで気に入った本を紹介できる場などを設けていきたい。